



おい町まちづくりアイデアコンテスト

別添資料

2024年11月10日

近畿大学 片岡出版社



目次

01	背景と目的	01
02	おおい町の基本情報	02
03	アンケート調査と考察	03
04	イベントの流れ	08
05	見込まれる効果	09
06	イベントの予算	11



01 背景と目的

背景 ~スマホ依存症~

スマホ依存症とは、スマートフォンの使用に精神的に依存してしまう状態のことを言う。スマートフォンの使用を続けることで、昼夜逆転する、成績が著しく下がる、など様々な問題が起きているにも関わらず、自分で使用をやめられず、スマートフォンを使用できない状況が続くと、イライラし落ち着かなくなるなどの依存状態に陥る。(東邦大学医療センター参照) 現代社会では、多様性が重視されるからこそコミュニケーション能力が求められる。スマホ依存は単に過剰に利用するというだけでなく、自分を理解してくれる相手との結びつきを強く求める結果、すなわち現代社会の形が大きく影響しているのである。

(なぜわれわれはSNSに依存するのか 著者 京都女子大学 正木大貴 参照)

目的 ~おおい町デジタルデトックスイベント~

おおい町でのデジタルデトックスイベントを通じて、デジタルデトックスの本来の目的であるストレス解消と心身のリフレッシュをおおい町の自然や観光資源を用いて五感で体験してもらう。

また、おおい町への興味関心をイベントの参加者に持ってもらい、おおい町内の飲食店や観光施設、宿泊施設、地域産業へ経済効果を生み出し、おおい町の地域活性化に貢献すること、最終的には若年層の1ターン促進やおおい町への移住定住に繋げることが目的である。



02

おおい町の基本情報

おおい町ってどんなところ

1.おおい町の場所

福井県おおい町は、平成18年3月3日、大飯町・名田庄村が合併して誕生した。町域の90%を占める山林と、若狭湾国定公園に面し、美しいリアス式の眺望が得られる海を中心に、豊かな自然に囲まれた町である。福井県の南西部に位置し、西は大飯郡高浜町、京都府綾部市、南は南丹市、東は小浜市、滋賀県高島市に接している。面積は212平方kmで、そのほとんどを中山間地が占めている。

2.おおい町の人口

総人口 7,913 人 (3,014 世帯) 大飯地域 5,745 人 名田庄地域 2,168 人
(令和2年度国勢調査より)

3.おおい町の気象概要

気候は日本海沿岸に位置するため、日本海側気候に属すが、町が面する海域に対馬暖流の分流が流れ込む関係で、沿岸部では、冬も比較的温暖である。しかし、最高・最低気温差や積雪量は沿岸部と山間部とで大きく異なる。





03

アンケート調査と考察

対象 近畿大学の学生を中心とした男女の若年層403人

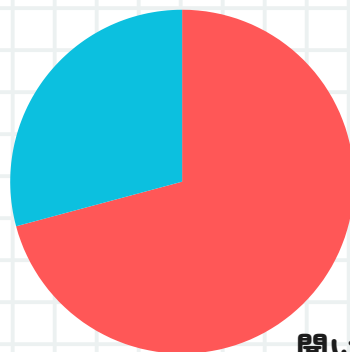
期間 2024年10月9日～2024年10月15日

方法 Googleフォーム

目的 デジタルデトックスの認知度・需要を調査するため

デジタルデトックスという言葉を知っていますか

聞いたことがない
29.2%

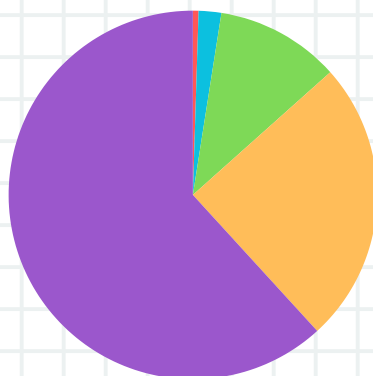


n=403

聞いたことがある
70.8%

一日のスマートフォンの平均使用時間を教えてください

2～3時間
10.9%



5時間以上
61.8%

3～4時間
24.8%

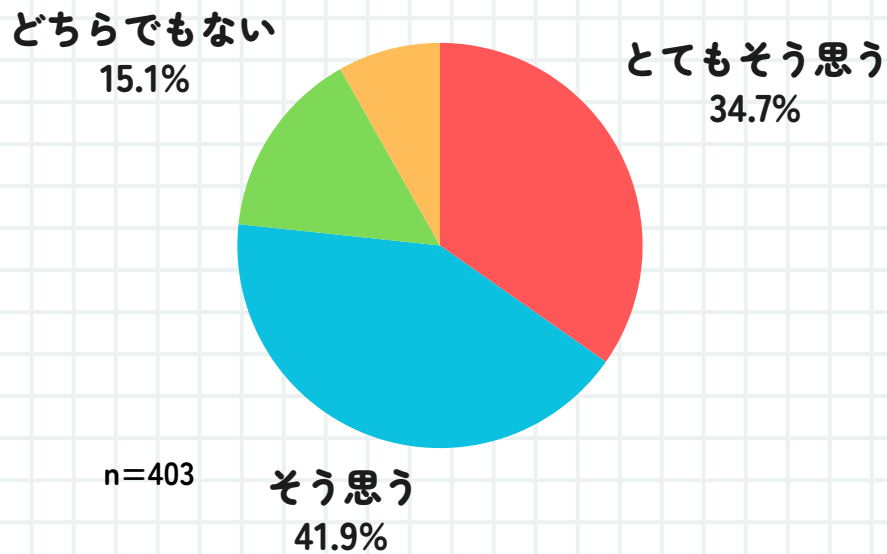
n=403



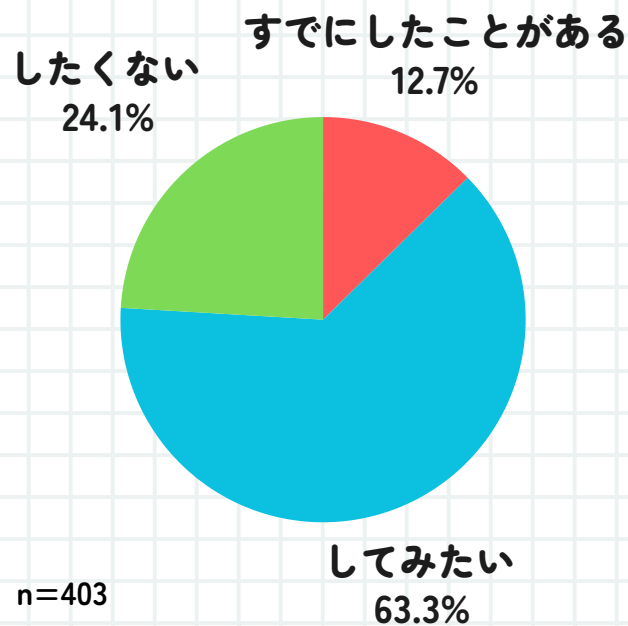
03

アンケート調査と考察

自分はスマホ依存症だと思いますか



デジタルデトックスをしてみたいですかをしてみたいですか

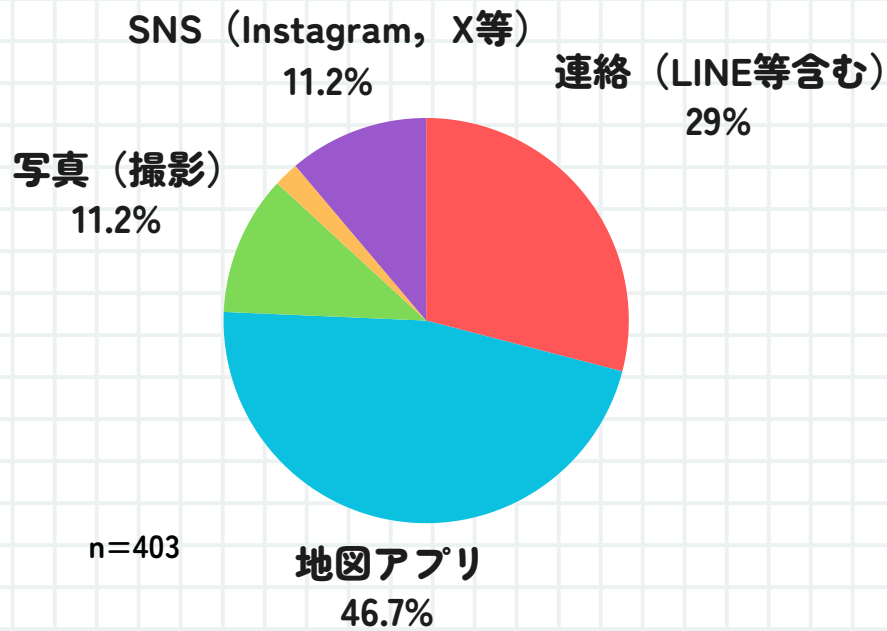




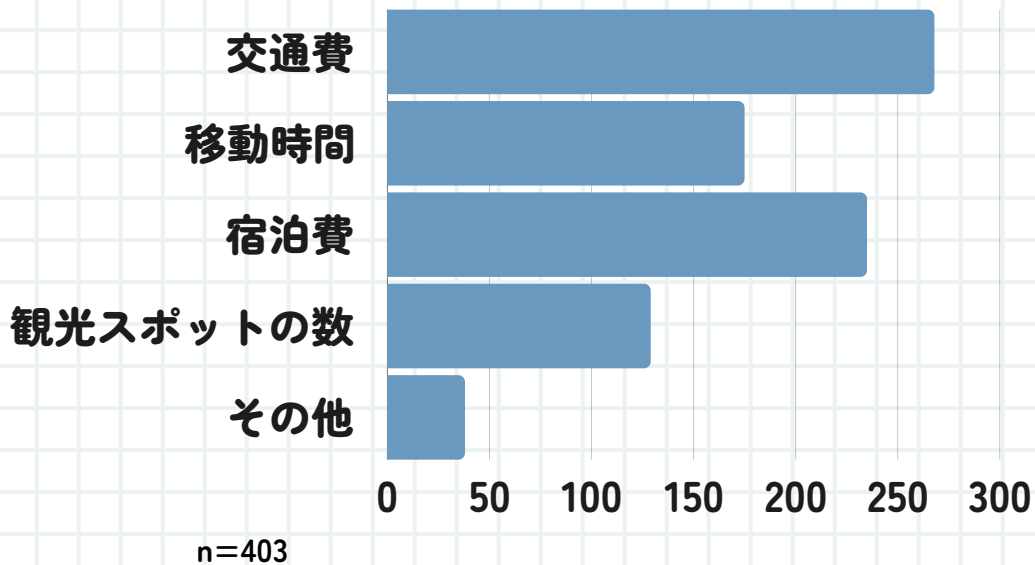
03

アンケート調査と考察

旅行に最も欠かせないアプリを教えてください



郊外への旅行で懸念される点は何ですか (複数回答可)





03

アンケート調査と考察

アンケート調査の概要

1. アンケート調査の背景・目的

デジタルデトックスイベントによるイベントの効果測定、イベント参加の満足度、イベントのニーズの把握、イベント参加者の属性などをアンケート調査で把握するため。

2. 調査対象、調査方法

近畿大学の学生を中心とした男女の若年層を対象とし、Google FormsによるWEBアンケートを近畿大学内の授業中や、SNS、メンバーの友人、知人らに協力してもらい回答を得た。

3. アンケート調査の回収状況

2024年10月9日～2024年10月15日までアンケート調査を実施し、期間内に回答があった403件の有効回答数を得た。

アンケート調査の考察・提言

若年層のスマホ使用時間と依存度

アンケート調査により、スマホ使用時間が5時間以上という回答が60%以上で、若年層のスマホ使用時間の多さを裏付けるものとなった。また、自分がスマホ依存症かという質問では、約75%の回答が「とてもそう思う」「そう思う」であり、若年層のスマホ依存度が高いことが分かる。



03

アンケート調査と考察

デジタルデトックスについて

デジタルデトックスという言葉の認識度を測る質問をしたが、約70%が知っているという回答を得た。よって、デジタルデトックスは若年層に有効でありイベントの価値があると考えられる。また、デジタルデトックスを行いたいかという質問では約60%の人が、「してみたい」という回答で、デジタルデトックスイベントは若年層に需要があると確認できた。

おおい町（郊外）への旅行について

旅行の際に必要なアプリは何かという質問では、「地図アプリ」が最も多く約50%の回答を得た。その次に「連絡アプリ」「写真アプリ」「SNS」となった。

この結果から、私たちの提案として万能リーフレット作成と、防災マップクリアファイル、写ルンですをイベントに用いることは有効である。



04 イベントの流れ

デジタルデトックスイベントの流れの一例

・1日目の例

	11:30	12:00	12:30	13:00	14:30	15:30	17:00	18:00
好天の場合	受付開始	開会式	物品配布	サップ ツアー	青戸ベイサ イドヒルズ	若狭パール 間宮	道の駅 うみんぴあ 大飯	BBQ
悪天候の場合	受付開始	開会式	物品配布	道の駅 名田庄	若州一滴文庫	若狭パール 間宮	道の駅 うみんぴあ 大飯	カレー作り

・2日目の例

	8:30	9:00	10:00	11:30	12:00	14:00
好天の場合	野鹿の滝	釣り	釣り	再集合	懇親会	閉会式
悪天候の場合	宿で ボードゲーム	イチゴ狩り	こども家族館	再集合	懇親会	閉会式

宿泊施設の例

	ゲストハウス よざえもん	町営ホテル 流星館	オーシャンリゾート ホテル&スパうみんぴあ
費用	¥18,000~	¥5,450~	¥19,400
住所	おおい町名田庄 納田終57-4	おおい町名田庄 納田終109-6-1	おおい町成海1-8
連絡先	090-2122-9393 npomorinko@gmail.com	0770-67-3000	0770-77-3700



05

見込まれる効果

短期的な効果

1. 地元産業への経済効果

イベントを通じて訪れる観光客が地元の飲食店や観光施設を利用することで、地元産業へ直接的な経済効果が生まれる。さらに、おおい町の地元産品や特産品の販売機会も増えるため、地域全体の経済活性化が期待される。

2. 認知度UP

参加者が、おおい町の自然や文化に触れることで、地域への興味関心が高まり、訪問後もおおい町についての話題を他者に共有することで、町の認知度が広がる。また、SNSやブログなどでの発信を通じて、デジタルデトックス体験が話題となり、新たな観光資源としての魅力が広がる可能性がある。

3. 費用削減

宿泊費の補助があることで、参加者にとってイベント参加がしやすくなり、参加率が向上。費用面でのハードルを下げることで、多くの人に体験してもらいやすくなる。また、おおい町には、移住希望者が町内に宿泊する際、5,000円の補助金が支給される『お試し滞在支援事業補助金』がある。この制度を参考に、独自アンケート調査で多くの回答が寄せられた宿泊費に対する懸念を踏まえ、イベント参加者の宿泊費を1チームあたり5,000円補助することで、参加をさらに促進する。

4. ストレス解消・リラックス

デジタル機器から離れることで、参加者が自然の中でリラックスし、心身ともにリフレッシュできる。特に、都会の喧騒から離れた環境でのデトックス体験は、ストレス解消に繋がりがやすく、良いリセット効果が得られる。



05

見込まれる効果

長期的な効果

5.1 ターンや移住促進

デジタルデトックスイベントを通じて、おおい町デジタルデトックス体験を通じて、参加者が日常生活でもの魅力に触れた参加者が、自然豊かな環境や住みやすさに興味を持ち、将来的な移住やIターンを検討するきっかけになる可能性がある。イベントの中で、地元の住民や移住者との交流の場を設けることで、参加者が町の生活のリアルな側面を知り、移住に対する前向きな感情が芽生えることが期待される。

6. 心身の健康改善

デジタル機器の使い方やライフスタイルを見直すきっかけとなり、心身の健康が向上。健康的な生活習慣への気づきの提供と、おおい町の良さとを結びつけることで、地域のイメージ向上にも寄与する。



06

予算と費用

イベント実施時にかかる予算と費用

合計予算	¥ 360,000	イベント会場費用	¥ 15,000
補助金	¥ 300,000	イベントリーフレット作成費用	¥ 13,000
参加費	¥ 1500×40= ¥ 60,000	写ルンです購入費用 (17個)	¥ 33,660
		写ルンです現像費用 (15個)	¥ 27,450
		クリアファイル&作成費用 (50部)	¥ 12,500
		配布用チラシ作成費用(100枚)	¥ 10,000
		広告宣伝費用	¥ 100,000
		イベント副賞費用	¥ 30,000
		宿泊補助費用	¥ 50,000
		懇親会飲食費用	¥ 40,000
		郵送費	¥ 4620
		人件費	¥ 0
		合計費用	¥ 336,230